

平成23年度

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1470201268	事業の開始年月日	平成17年12月1日	
		指定年月日	平成17年12月1日	
法人名	特定非営利活動法人 介護支援協会			
事業所名	グループホーム よこはま			
所在地	(221-0854) 横浜市神奈川区三ツ沢南町 1 3 - 2			
サービス種別 定員等	小規模多機能型居宅介護	登録定員	名	
		通い定員	名	
		宿泊定員	名	
	認知症対応型共同生活介護	定員計	18	名
		ユニット数	2	ユニット
自己評価作成日	平成23年10月15日	評価結果 市町村受理日	平成24年1月6日	

事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	http://www.kaigo-kouhyou-kanagawa.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=1470201268&SCD=320
----------	---

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

三ツ沢南町は縄文時代の貝塚弟子の地上文化財に登録されています。横浜翠嵐高校の脇に案内板があります、その裏の北斜面の坂中程度にグループホームが立地しています。またその下には三ツ沢せせらぎ緑道が1.7km続き遊歩道が続いています。ホームの環境の良い所にあります。医療関係は24時間対応出来る主治医と連携をとり安心できる態勢を作っています。通院はホームのスタッフが送迎をして医師の診断をスタッフが視聴し以後の介護に役立てるようにしています。

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社フィールズ		
所在地	251-0024 神奈川県藤沢市鶴沼橋1-2-7 湘南リハウスビル4階		
訪問調査日	平成23年11月19日	評価機関 評価決定日	平成23年12月10日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

JR横浜駅より市営地下鉄(ブルーライン)で1つ目の「三ツ沢下町」駅で下車、徒歩10分の所にあります。周りは閑静な住宅街で大きな樹木が坂道に枝を垂れ、都会の一角にありながらも「癒し」を感じさせてくれます。
<優れている点・工夫点>
ホームの建物の2階部分が玄関入口になっており、入ると玄関ホール正面に利用者の作った壁面いっぱい飾る大作が目に入り、廊下にも利用者の作品が飾られています。手作りの暖かみと感性の表現に心の安らぎを感じさせてくれます。施設長は家庭的な雰囲気特に重視され、ホームの畑で作った野菜を収穫したり、食事作りも職員と利用者が日々手作りで賄ってます。職員は外部研修(年間に10数回)に積極的に参加し、報告研修で職員間の共有を図っています。地域防災の観点から地域との「防災協定」を結び、屋内のスプリンクラー設備の取り付けを終えています。これらは利用者及び家族の安心につながっています。

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	グループホーム よこはま
ユニット名	こもれび

アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25)		1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38)		1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36,37)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9,10,19)		1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)		1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11,12)		1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念を見やすい場所に提示し確認できるようにしている。一人一人に徹底している。	介護現場で判断に迷った時には、理念に戻って考えるように、日頃から管理者は心掛ける様にしています。また、職員には、さらにわかりやすい言葉に置き換えて、年間の行動目標として事務所に掲示し、常に身近にできるよう努めています。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会員として行事に参加協力している。地域のお祭り、運動会、敬老会の招待等有り、ホームの行事にもご参加いただく。	近所の竹藪で「竹の子掘り」を地域の人と楽しみ、ホームで料理をしたものを届けたして喜ばれ。夏の祭りでは、子供神輿がホームに来てくれ、子供たちとの交流が行われています。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	町内行事に参加協力をすること。町内会長さんの理解が大きく、地域の方の理解者協力社が増えている。地域の方への挨拶やホーム前の通路の清掃美化に勤めている。	/	/
4	3	運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	推進運営会議での意見は議事録として作成。フロア会議、家族会に提示している。スタッフ全員に周知徹底し、日常のケアに反映するようにしている。	運営推進会議は2ヶ月に一度、実施されています。自治会長、民生委員、地域ケアプラザ、家族代表の参加を得て入居者状況やホームの生活を中心に報告や自由な話し合いをしています。	
5	4	市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	市長村の運営する研修会に参加出来る環境作りをしている。	市の催しで業務に関連するものには積極的に参加しています。区内のグループホーム連絡協議会に参加し、災害時の連携について話し合ったり、相互研鑽の機会を持っています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>県・市町村の資料を参考に研修会を開催している。必要に応じ話し合いをしている。</p>	<p>「身体拘束廃止宣言」をしています。ベッド柵については、その必要性について、カンファレンスで取り上げ検討しています。</p>	
7		<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>県・市町村の資料を参考に研修会を開催している。必要に応じ話し合いをしている。</p>		
8		<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>インターネットや市町村発行の広報誌より研修会の開催を入手し参加できるように啓発している（ロッカールームに告知表を提示）</p>		
9		<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>直接関わっていないが、家族等から質問があれば、確認して対応している。</p>		
10	6	<p>運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>家族会や推進会議での議題は定例会で検討し実践している。家族には電話等でフィードバックしてる。</p>	<p>病院などの「医療対応について、その体制をきちんとして欲しい」との家族の意見があり、スタッフとかかりつけ医とのダイヤルイン等連携がとれるようになり、改善が図られています。</p>	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	常勤会議をもうけ意見交換が出来る。	労働環境の改善について、職員の定着促進に向け、各種手当の新設等が検討しています。各フロアで「フロアチーム会議」で各職員間の意見を取り上げ、ホームの運営に活かしています。	ホームとしての年間の事業計画を前もって策定、周知、実施、評価することにより、職員と一丸となった運営姿勢の方針展開を期待します。
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員の意見を反映、検討して改善していく。休憩室など居心地の良い空間を工夫しています。		
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	チームの代表として責任を持って研修に参加している。受講してきた研修内容をチーム会などで伝達している。		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	法人内での人事異動を実施。		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	居室担当者がある関係づくりに勤めている。朝夕の引継ぎやフロア会議で調整している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族との関係には最善の注意を払っている。少しでも気になるような事が話せる雰囲気づくりをしている。		
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	家族から要望を聞いている。家族からも信頼できるよう努力している。		
18		本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	利用者の生活歴を理解し出来る事、得意な事を見だし、自信を持って共に生活を作り上げている。		
19		本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族と利用者の関係がよくなるよう架け橋になれるような役割が出来ればと考えている。		
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	生活歴を探り、本人の気持ちに沿うようにしている。	認知症介護研究・研修東京センターで開発した課題抽出のための「センター方式」のシート採用に移行しています。「暮らしの情報」「私の気持ちシート」に沿って進めていく事を検討しています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	個々の気質、その日の体調、気分を考慮している。		
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	必要な情報など情報提供・相談等を行っている。		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	個々の性格にあわせて行っている。	その方の生活歴、馴染みのものや本人の顔の表情などを察して、思いを把握するように努めています。囲碁の好きな方にはホームの人が対戦相手になったり、創作活動では本人のできることを引き出す支援をしています。	
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人が何気なく話されたことや行動（生活歴の記録）再発見があったら記録を残し職員間で共有できるように記録に残す。		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	朝・夕の引継ぎにて、日々の利用者の変化に気をつけて、一日の過ごし方の目安にしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>毎月のフロア会議で検討し、必要に応じ見直しを行う。家族にも意見、希望を聞き取り入れている。</p>	<p>モニタリングを兼ねたカンファレンスは、月に一度実施しています。利用者の変化をとらえ、居室担当の職員を中心にチームで検討しています。参加できなかった人には、回覧で共有化を図っています。</p>	
27		<p>個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>利用者、個々について、きずいたことをプットイットに書いて貼り、まとめる方法で、情報の共有に努めている。</p>		
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>機能の低下やその他、その時に必要なサービスが出来るように家族やその他必要な期間と相談の上、実地している</p>		
29		<p>地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>町内会長、民生委員・地域の方の協力をさせていただく（竹林の庭を提供して頂き筍堀を毎年行うことが出来ている）</p>		
30	11	<p>かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>24時間体制の医療との提携がある。医療の指示のもと家族と相談して適切な医療を受診している。</p>	<p>週に一回のかかりつけ医の往診対応を実施しています。職員はかかりつけ医に各利用者の観察状況を伝え、指示をいただいたりして円滑な連携がとられています。</p>	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	利用者の変化等、連絡ノートなど、事細かに伝達している。		
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院及び受診事の付き添い、手術の立会い、介護サマリーの提供等を行っている。通信機器による情報共有に努めている。		
33	12	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	家族、医療関係者の指示に従い連帯を満つにする。必要に応じて家族の協力をお願いする。	重度化については、主として医療に依存した対応をとっています。急性期を過ぎ、医療を必要としない方が帰園された時、及びその後のケアについては医師の指示に基づき、相談しながら支援しています。	重度化への対応指針の検討と対応マニュアルの整備をすることで、職員間で情報を共有していかれることを期待します。
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	資料等での確認は、普段の業務の中で話し合い確認をしている。広報誌などからの講習会の情報からもに参加申し込みをして受講している。		
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	非常食品等の備蓄・スプリンクラーの設置済み。避難訓練の実施をしている。	防災訓練、地域との防災協定、スプリンクラーの設置、非常食の備蓄など、災害に対するホームの対応は充実したのが見られます。常に災害意識を持ち充実に向っています。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	努力している。職員が互いに啓発し職務の向上に勤めている。成功例などを話し合うなどしている。	日頃のミーティングでの話し合いはもちろん常に管理者が自ら現場に入り一人ひとりの人格を尊重した言葉かけになっているか注意しています。特に排泄や入浴時の介助は本人のプライバシーに配慮してさりげない声かけをするように努めています。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者一人一人が自分の思い、意見を言いやすい環境づくりに努めている		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	行事・天気などで1日の予定は決まっているが、利用者の気持ちを大切にし個別対応に心がけている。一日を楽しく過ごせるように工夫している。		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	おしゃれを楽しめる、外出レクリエーションの実効の提供をしている。		
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食材レクリエーションとして計画、立案を利用者が主体となって行っている。(メニュー決め、買い物、盛り付け等)	春には筍掘りをして庭に畑を作り、夏はキュウリやトマトを収穫しみんなで話し合いをしながら調理法を決めています。職員と一緒に盛りつけをすることもあります。職員も利用者と一緒にテーブルを囲み同じものを食べています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>管理栄養師指示のメニューである。水分表や食事表を記入している。個々の体調に合わせ、医療者と相談して摂取カロリーを決めている。</p>		
42		<p>口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>毎食後の歯磨きの実施。機能低下した方には、必要に応じ用具を使い行っている。歯磨き習慣の実施。</p>		
43	16	<p>排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>排泄表を記入する事で、排泄パターン、排泄サインを知り本人の意向に合わせている。</p>	<p>失禁をせずトイレで排泄できる満足感を味わってもらうことを目指し一人ひとりの排泄状況を検討し、カンファレンスを重ね排泄の自立支援をしています。職員は利用者の排泄サインを見逃さないように観察する力を磨いています。</p>	
44		<p>便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>散歩や体操を取り入れて腸の活動を促している。食物繊維の摂取、ヨーグルなどを調理やおやつに使うなど工夫をしている。</p>		
45	17	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>本人の希望や体調に合わせて行っている。足浴も実施。</p>	<p>入浴を職員と一対一でゆっくり話せる楽しい時間として位置づけています。また拒否がある方には家族の協力を仰いだり銭湯に行くようにかごを渡し入浴の準備をしてもらったり仲良しの方と一緒に入ってもらう等お誘いの工夫をしています。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個々の体調にあわせ、食後の休息、必要に合わせ午睡も取り入れている。			
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の管理、正しい服薬をしている。			
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	薬の変更など、あったときなどは様子観察を行い、医療に情報提供している。			
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	目標を定めて生活をすすめている。個々の能力にあわせ、散歩、地域の行事に出かけている。	天候や体調が良ければ本人の希望に沿って散歩は毎日のようにしています。近くのコンビニにおやつや雑誌等の買い物に行くこともあります。またお弁当を持って花見に行ったり車で外食に行く等積極的に外出の支援をしています。		
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	買い物に出かけたときは、本人に支払いをお願いしている。			

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	希望や必要に応じて行っている。特に お正月などは電話でおめでとうコール を実施している。文通希望者には協力を している。		
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、 トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくよ うな刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないよ うに配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく 過ごせるような工夫をしている	季節感を考え、利用者の作品を展示し ている。利用者の歩行中の事故防止に 努め、廊下などを明るく保つようにし ている。	大きな窓があるリビングは明るく座り 心地の良いソファが置かれています。 季節ごとに利用者が作られる作品が壁 に飾られ、思い思いに裁縫をしたり囲 碁をしたりゆったりとくつろいでいま した。トイレや浴室は換気も良く掃除 が行き届いています。	
53		共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者 同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をして いる	限られたスペースを最大限広く利用出 来るように工夫している。		
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しな がら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人 が居心地よく過ごせるような工夫をしている	整理整頓に心がけている。なじみの物 を置き、個性を生かした居心地の良い 空間作りをしている。転倒等も予測し 家具の配置をしている。	それぞれの居室は馴染みの家具や仏壇 が置かれたり家族の写真や趣味の切り 絵が飾られたり個性が感じられる空間 となっています。居室からは自由にベ ランダに出られ布団を干したり洗濯物 を干したりすることもできます。	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかるこ と」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が 送れるように工夫している	個人・共有スペース等には記名をして いる。洗面所には手洗いの手順をイラ ストで説明、トイレに迷わないよう 目線の位置に表示している。		

事業所名	グループホーム よこはま
ユニット名	せせらぎ

アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25)		1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38)		1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36,37)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9,10,19)		1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)		1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、活き活きと働けている。 (参考項目：11,12)		1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念を見やすい場所に提示し確認できるようにしている。一人一人に徹底している。		
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会員として行事に参加協力している。地域のお祭り、運動会、敬老会の招待等有り、ホームの行事にもご参加いただく。		
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	町内行事に参加協力をすること。町内会長さんの理解が大きく、地域の方の理解者協力社が増えている。地域の方への挨拶やホーム前の通路の清掃美化に勤めている。		
4	3	運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	推進運営会議での意見は議事録として作成。フロア会議、家族会に提示している。スタッフ全員に周知徹底し、日常のケアに反映するようにしている。		
5	4	市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	市長村の運営する研修会に参加出来る環境作りをしている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	県・市町村の資料を参考に研修会を開催している。必要に応じ話し合いをしている。		
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	県・市町村の資料を参考に研修会を開催している。必要に応じ話し合いをしている。		
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	インターネットや市町村発行の広報誌より研修会の開催を入手し参加できるように啓発している（ロックスールームに告知表を提示）		
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	直接関わっていないが、家族等から質問があれば、確認して対応している。		
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族会や推進会議での議題は定例会で検討し実践している。家族には電話等でフィードバックしてる。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	常勤会議をもうけ意見交換が出来る。		
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員の意見を反映、検討して改善していく。休憩室など居心地の良い空間を工夫しています。		
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	チームの代表として責任を持って研修に参加している。受講してきた研修内容をチーム会などで伝達している。		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	法人内での人事異動を実施 その中で意見交換をして工夫して実践している。		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	居室担当者がある、関係作りに勤めている。朝夕の引継ぎやフロア会議で調整している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族との関係には最善の注意を払っている。少しでも気になるような事が話せる雰囲気づくりをしている。		
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	家族から要望を聞いている。家族からも信頼できるよう努力している。		
18		本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	利用者の生活歴を理解し出来る事、得意な事を見だし、自信を持って共に生活を作り上げている。		
19		本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族と利用者の関係がよくなるよう架け橋になれるような役割が出来ればと考えている。		
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	生活歴を探り、本人の気持ちに沿うようにしている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	個々の気質、その日の体調、気分を考慮している。		
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	必要な情報など情報提供・相談等を行っている		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	個々の性格にあわせて行っている。		
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人が何気なく話されたことや行動（生活歴の記録）再発見があったら記録を残し職員間で共有できるように記録に残す。		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	朝・夕の引継ぎにて、日々の利用者の変化に気をつけて、一日の過ごし方の目安にしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	毎月のフロア会議で検討し、必要に応じ見直しを行う。家族にも意見、希望を聞き取り入れている。		
27		<p>個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	利用者、個々について、きずいたことをプットイットに書いて貼り、まとめる方法で、情報の共有に努めている。		
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	機能の低下やその他、その時に必要なサービスが出来るように家族やその他必要な期間と相談の上、実地している		
29		<p>地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	町内会長、民生委員・地域の方の協力をさせていただく（竹林の庭を提供して頂き筍堀を毎年行うことが出来ている）		
30	11	<p>かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	24時間体制の医療との提携がある。医療の指示のもと家族と相談して適切な医療を受診している。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	利用者の変化等、連絡ノートなど、事細かに伝達している。		
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院及び受診事の付き添い、手術の立会い、介護サマリーの提供等を行っている。通信機器による情報共有に努めている。		
33	12	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	家族、医療関係者の指示に従い連帯を満つにする。必要に応じて家族の協力をお願いする。		
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	資料等での確認は、普段の業務の中で話し合い確認をしている。広報誌などからの講習会の情報からもに参加申し込みをして受講している。		
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	非常食品等の備蓄・スプリンクラーの設置済み。避難訓練の実施をしている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	努力している。職員が互いに啓発し職務の向上に勤めている。		
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者一人一人が自分の思い、意見を言いやすい環境づくりに努めている		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	行事・天気などで1日の予定は決まっているが、利用者の気持ちを大切にし個別対応に心がけている。一日を楽しく過ごせるように工夫している。		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	おしゃれを楽しめる、外出レクリエーションの実効の提供をしている。		
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食材レクリエーションとして計画、立案を利用者が主体となっていて行っている。(メニュー決め、買い物、盛り付け等)		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>管理栄養師指示のメニューである。水分表や食事表を記入している。個々の体調に合わせ、医療者と相談して摂取カロリーを決めている。</p>		
42		<p>口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>毎食後の歯磨きの実施。機能低下した方には、必要に応じ用具を使い行っている。歯磨き習慣の実施。</p>		
43	16	<p>排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>排泄表を記入する事で、排泄パターン、排泄サインを知り本人の意向に合わせている。</p>		
44		<p>便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>散歩や体操を取り入れて腸の活動を促している。食物繊維の摂取、ヨーグルなどを調理やおやつに使うなど工夫をしている。</p>		
45	17	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しむように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>本人の希望や体調に合わせて行っている。足浴も実施。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個々の体調にあわせ、食後の休息、必要に合わせ午睡も取り入れている。		
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の管理、正しい服薬をしている。		
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	薬の変更など、あったときなどは様子観察を行い、医療に情報提供している。		
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	目標を定めて生活をすすめている。個々の能力にあわせ、散歩、地域の行事に出かけている。		
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	買い物に出かけたときは、本人に支払いをお願いしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	希望や必要に応じて行っている。特にお正月などは電話でおめでとうコールを実施している。文通希望者には協力をしている。		
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節感を考え、利用者の作品を展示している。利用者の歩行中の事故防止に努め、廊下などを明るく保つようしている。		
53		共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	限られたスペースを最大限広く利用出来るように工夫している。		
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	整理整頓に心がけている。なじみの物を置き、個性を生かした居心地の良い空間作りをしている。転倒等も予測し家具の配置をしている。		
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	個人・共有スペース等には記名をしている。洗面所には手洗いの手順をイラストで説明、トイレに迷わないように目線の位置に表示している。		

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		外部評価の意見として運営に関して職員意見をもう少し聞く機会を代表者、管理者が取る事を進めている。	現在は勤務の状態によって幅広く職員の意見を聴衆することは困難ですが、管理者が毎月2階のフロアー会議に出席して職員の意見をまとめている。それを代表者と意見交換する機会をもう少し多く持ちたい。	管理者の職務権限の幅を広げ職員の意見を聴衆できるようにすると同時に、代表者と定期的な会議を設けるようにする。	3ヶ月
2		介護職員処遇改善交付金が24年3月31日で終了予定です。その交付金なき後の職員に対する処遇を出来るだけ大きな減額にならない様にしなければなりません。何らかの制度を計画しなければならない。	基本給を変更することは出来るだけ避け何らかの手当てを持って、対応を考える。	手当ての出し方は既に実行しているが、方法をもう一度考え直したい。	4ヶ月
3		運営推進会議を2ヶ月に一度開催して会議になれてきた成果として、ご家族からのご意見と感謝の言葉が多く出るようになってきました。良い面は良しとして、ご意見を運営にどう反映していくか、又その結果報告が出来るよう努めたい。	このまま推進会議の開催を続けて行く事でもう少し意見が出ることを期待している。	ご家族のご意見等を次回の会議に報告して改善の結果報告をする。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。